



CIVIC FORCE

NEWS LETTER Vol.21

ニュースレター (July, 2020)



大雨による土砂崩れや道路の寸断で、5日時点で78地区が孤立状態となった熊本県の球磨村。新型コロナウイルスの影響で支援の手は少なく、泥が入り込んだ家屋や農地の復旧作業もまだまだこれからです。
写真⇒ヘリで球磨村の孤立集落に入り救出にあたった ARROWS 医師 @ARROWS

令和2年7月豪雨 コロナ禍の緊急支援

「平成最悪の水害」と呼ばれた西日本豪雨から2年。それを上回る降水量の「令和2年7月豪雨」が、再び私たちの日常を奪いました。球磨川の氾濫によって広範囲が浸水し、4日に熊本県と鹿児島県で、6日から7日には福岡県、佐賀県、長崎県で大雨特別警報が発表されました。その後、岐阜県や長野県、東北地方でも大量の雨が降り、九州を中心に80人以上が亡くなりました。2020年7月末時点で、全国27県に1万6700棟余りの住宅被害が確認されています。

Civic Force は、災害時の緊急支援プロジェクト「空飛ぶ捜索医療団“ARROWS (アローズ)”」の一員として、4日早朝から水陸両用車や車輛、ヘリコプターなどで被災地に向かいました。新型コロナウイルスという脅威の中での支援活動は前代未聞の挑戦ですが、私たちはまず「人命救助」を第一優先に、熊本県人吉市や球磨村で孤立集落のレスキューや行方不明者の捜索、医師による被災者の診療活動を実施。1月から続けてきた「新型コロナウイルス緊急支援」の経験も踏まえ、感染防止対策に配慮した避難所の設営・運営支援や緊急支援物資の調達・配布も続けています。物資の調達にあたっては、提携する企業と協力して下着や衛生用品、寝具、暑さ対策のための扇風機などのほか、非接触型体温計やマスク、消毒液、隔離用テントなど感染対策に活用できる物資を被災地に届けています。

今号のニュースレターでは、甚大な被害を受けた7月豪雨の被災地支援活動についてご報告します。また、今も広がる新型コロナウイルスの緊急支援のこれまでの実績と現状、東日本大震災の復興支援についておしらせします。ご支援いただいた皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

Contents

P2 被災地を支援する

【7月豪雨】

- ・発災から10日
- ・孤立集落のレスキュー／避難所支援
- ・「NPO パートナー協働事業」@大分県日田市
- ・被災地からのメッセージ

【新型コロナウイルス】

- ・日本の医療・福祉の現場を支える支援
- ・二重苦救う「NPO パートナー協働事業」

【東日本大震災】

- ・3県で7プロジェクト

P7 緊急即応体制を創る

- ・メディア掲載
 - ・代表理事交代のお知らせ
- ほか

発行日：2020年7月
発行：公益社団法人 Civic Force
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 2-41-12
富ヶ谷小川ビル 2階
TEL：03-5790-9366
e-mail：info@civic-force.org
URL：http://www.civic-force.org

被災地 を 支援する

日本各地で発生する災害時の緊急支援活動や被災地の復旧・復興に向けた取り組みなどについてお知らせします。

7月
豪雨

発災から10日 ～孤立集落のレスキューから避難所設営・運営まで

7月4日に発生した豪雨被害を受けて、Civic Force は、空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”の一員として、医師・看護師・レスキュー隊員・パイロットなど総勢約30人と救助犬3頭を動員。4日からヘリ2機、車輛、水陸両用車、ボートなどを活用して熊本県人吉市と球磨村、福岡県久留米市、大分県日田市、佐賀県などで緊急支援活動を行っています。



Day2～ 避難所設営・運営支援

熊本県球磨村総合運動公園に身を寄せていた被災者の健康に配慮し、5日、近隣の避難所への移動を提案。医師・看護師立会いのもと、避難者の移送先となる人吉市立第一中学校と旧県立多良木高校で、手洗いの徹底を呼びかけるポスターの掲示や3密を避ける空間づくりなど感染対策に配慮した避難所のスタートアップを支えました。

Day4～ 孤立集落へのアプローチ

SOSを出していた孤立集落の一つ、球磨村の神瀬（こうのせ）保育園の要請を受け、7日、土砂に埋もれた道を歩いて避難者66人に2日分の食糧を届け、診療や薬剤の処方を行いました。晴れ間が見えた8日にはヘリを5往復させて孤立集落の20人を搬送。犬猫の救助も行いました。



Day1～ 救急搬送・医療支援

4日、水没した熊本県球磨村の特別養護老人ホーム「千寿園」から球磨村総合運動公園に運ばれた被災者のうち、要救護者を近隣の病院に車輛で緊急搬送しました。また、避難所などに身を寄せる人たちの診療を通じて心身のケアを行うとともに、ケガの治療や薬の処方なども行いました。

Day1～ 緊急支援物資の調達・配布

被災者のニーズに合った支援物資をタイムリーに届けています。避難所や孤立集落に届けた支援物資の事例は以下のとおりです。これらの物資の一部は、緊急災害対応アライアンス「SEMA」をはじめ多くの企業の皆様からご提供いただいております。



支援物資

テント10張／避難所運営ハンドブック／マスク／ゼリー飲料／消毒液／非接触型体温計／ハンドクリーム／ローション／寝具／扇風機／ブルーシート／肌着／靴下／子供用衣類／マスク／キャリーバッグ／電源タップ／乾電池／時計／衣類ケース／ブルーシート／ボールペン・メモ帳／蚊取り線香／オムツ／Tシャツ／枕／バスタオル／マットレス／漂白剤／

物資の配布先

<熊本>人吉市社会福祉協議会／人吉市スポーツパレス／人吉東小学校／人吉市立第一中学校／旧県立多良木高校／球磨村総合運動公園
<福岡・久留米市>北野生涯学習センター、北野小学校、鳥飼コミュニティセンター、久留米市社会福祉協議会
<佐賀・鹿島市、太良町>おもやいボランティアセンター
<大分・日田市>天ヶ瀬振興局、杉河内小学校、津江中学校、中津江振興局、鯛生スポーツセンター

大分県日田市で「NPO パートナー協働事業」開始

豪雨で被災した地域の復旧・復興をサポートするため、Civic Force は「NPO パートナー協働事業」を通じて、地域に寄り添いながら活動する地元 NPO の活動をサポートしています。発災直後から被災地の復旧を支える、大分県日田市の NPO リエラの活動をご紹介します。その他の被災地でも調査中です。

大分県日田市 「天ヶ瀬温泉、中津江村の未来のために今できることを」——リエラ

2017 年の九州北部豪雨で甚大な被害を受けた大分県日田市。NPO 法人リエラ（前・ひちくボランティアセンター）は当時、避難所の運営支援などを実施し、現在は日田市を拠点に移住定住促進や防災・減災の取り組みを行っています。

今回の豪雨では、大きな被害を受けた天ヶ瀬温泉街の復旧・復興を支えるため、旧あまがせ保育園などを拠点に、県内外からのボランティア受け入れや観光復興のための若手有志グループのスタートアップをサポートしています。また、土砂崩れで一時孤立状態となった中津江村は、雨が降り続く中、避難生活の長期化が予想されます。そのため、物資支援や泥出し、家屋の片付けなどに加え、地域の活力を取り戻すためのレクリエーションや勉強会を実施し、地域の人々との信頼関係を築きながら生活再建に向けた個別支援を行っていきます。



リエラ代表の松永鎌矢さんは「梅雨半ばの水害でカビの繁殖が早く、対処が追いついていません。1 階が浸水し 2 階で生活している人も多くいますが、キッチンや冷蔵庫もない中で健康被害や精神的影響が出てきています。コロナ禍でボランティアが少なく、今は地元の方を中心に炊き出しや配食が実施されていますが、雨が降り続く中、今後の生活や将来への見通しも立たず不安を抱えています」と、息の長い支援の必要性を訴えています。



「助かります」「ありがとう！」—被災地からのメッセージ

7 月の豪雨被害に対し、多くの皆様から迅速かつ多大なるご支援を頂戴しております。詳細は追って HP 等でご報告しますが、あたたかいご支援に感謝申し上げます。被災地で大変な思いをされている皆さんからのメッセージをご紹介します。コロナ禍でなかなか復旧が進まない被災地へ、引き続きご関心をお寄せください。

「3 日ぶりの着替えが嬉しい。
なんとか生き延びたけれど、
何も持ってこれなかったから」
—支援物資の肌着を受け取った女性

「心配でたまらなかった。やっと会えた」
—孤立集落にペットを残したままヘリで救助された男性。
ARROWS が救助した犬猫に1週間ぶりに再会して

「感染対策に手が回らず…
とても助かります！」
—避難所運営責任者の男性。
体温計やマスクなどの物資を手



ご寄付受付中！

■三井住友銀行 青山支店 普通
6977180（令和2年7月豪雨支援）

■ゆうちょ銀行
00140-6-361805
※通信欄に、「令和2年7月豪雨支援」とご記入ください。

公益社団法人 Civic Force
シャ) シビックフォース

■クレジットカード・電子マネー
<https://bokinchan3.com/civicforce/donation/bokin/page1.php>

※様々なサポートをするためにご寄付のうち 15%は運営費として活用させていただきます。

【新型コロナウイルス緊急支援】 日本の医療・福祉の現場を支える支援

新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、今も猛威を振るっています。平時から危機に備えてきた Civic Force は、1 月末に「新型コロナウイルス緊急支援」の寄付口座を開設。中国への医療物資支援を皮切りに、2 月からは国内の医療機関や福祉施設などへの支援を開始し、以降 7 月末までに、空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”の一員として以下の支援活動を実施しています。



離島の航空医療搬送訓練に協力

北海道利尻島で感染症による重症者などが発生した際、島内から島外の医療機関へ、民間航空機を利用して医療搬送を行う実践的な訓練を実施。医師とレスキュー隊員を派遣し、島内の病院や消防、自治体などと連携し感染を防ぎながら人命を救う体制を整えています。利尻島以外の自治体・病院とも連携していく計画です。

NPO パートナー協働事業

3 団体と連携中。詳しくは p5 へ。

感染対策の支援物資を被災地へ

災害支援を専門とする Civic Force ならではの支援として、過去に地震や水害などで被災した地域において感染対策に配慮しながら復旧・復興支援活動に尽力する NPO を対象に、消毒液やマスクを配布。また企業から提供を受けて、ゼリー飲料やサプリメントをお届けしました。

<お届け先>

石巻復興支援ネットワーク（宮城）/ 三陸ひとつなぎ自然学校（岩手）/ ピースジャム（宮城）/ HOPE Apple（長野）/ HeartyDECO（長野）/ そーる訪問看護ステーション（岡山）



マスク144万枚を医療・福祉施設へ

災害支援用の備蓄品や国内外から調達したマスク 144 万枚を 1300 以上の医療・福祉・児童施設などへ配布（1 月～7 月）。東京都医師会や自治体、病児保育の NPO などと連携し、公的支援が届きにくい無床診療所や学童保育施設、医療的ケアが必要な子どもたちにも届けています。



病院にトレーラーやテントを貸与

院内感染を防ぐためのトレーラーやテントを関西や九州の病院に貸与。搬出・設置から内部の整備まで支援を行い、必要に応じてポータブルレントゲンや空気清浄機、防護具なども届けています。各病院からは「外来患者の発熱や緊急度などを判断するトリアージ（選別）室として活用。地域の医療体制を守る上で大きな意味がある」と重宝されています。



日本各地で多発する自然災害の被災地に、より早く駆けつけるため、2019 年 12 月、Civic Force は、広島や佐賀の NPO とともに「空飛ぶ捜索医療団“ARROWS（アローズ）”」を設立しました。病院や自治体、企業など様々なパートナーと協力し、人命救助はもちろん、被災者の方々が少しでも早くもとの生活に戻れるよう、総力を挙げて支援活動に取り組みます。

新型コロナウイルスの危機にあたっては、事態を“災害”と捉え、1 月から支援活動をスタート。

災害 × コロナの二重苦を救う「NPO パートナー協働事業」

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨、北海道地震、台風 19 号… Civic Force がこれまで支援してきた災害被災地は、今も復旧・復興の途上にあります。しかし、新型コロナウイルスの影響で、復興イベントや復興サロンの延期・中止が相次ぎ、

地域コミュニティの絆が、再び衰退・分断の危機にあります。Civic Force は 5 月から「COVID-19 NPO パートナー協働事業」を開始し、新型コロナウイルスの深刻な影響を受ける被災地での様々な取り組みを支援しています。

子ども支援

感染対策と「あおぞらパーク」

三陸ひとつなぎ自然学校
伊藤 聡 代表

コロナの影響で、子どもたちが窮屈な思いをしています。東日本大震災の教訓から、早い段階で子どもたちの健全な成長を守る取り組みが必要と感じ、釜石市の企業や団体と協力して 5 月から毎週末、「あおぞらパーク」を開催しています。参加した子どもたちはこれまで家の中で我慢してきた子も多く「ここでは思いっきり体を動かせる」と笑顔を見せてくれます。医師などの助言を受けて作成した感染予防対策マニュアルを他地域にも広く共有し、より多くの子どもたちが体を動かす場づくりのお手伝いをしたいです。



障がい者支援



「障がい者の働く場を守る！」

(一社) Arts and Sports for Everyone
ASE 吉田 祐一 代表

新型コロナウイルスの感染拡大による経済の落ち込みが、障がい者の働く場にも大きな影響を及ぼしています。厳しい現状を乗り切る一助になればと、障がい者支援施設の経営者などを対象にした連続オンラインセミナーを 6 月から開催しています。初回は、日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET の久津摩和弘理事長が「福祉活動とファンドレイジング お金がないで諦めない社会福祉を目指して」と題して話し、熊本の福祉施設など約 20 人が参加しました。ASE では、障がい者施設で作成した雑貨などの販路拡大のため、オンラインショップの立ち上げもサポートしています。

子育て支援

「母親たちの働く場をもう一度」

ピースジャム
佐藤 賢 代表

東日本大震災以降、宮城県気仙沼市を拠点に、地域の果物を使ったジャムづくりなどを通して母親たちのコミュニティの場を築いてきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で販路や収入が減り、親子が集まる場や子どもたちが体を動かす機会も少なくなっています。感染予防対策への備えが重要とされるなか、小型空気清浄機の製造や消毒液の販売など、今特にニーズのある事業展開に舵をきるとともに、3 密を避けた作業場を整備し、母親たちの居場所と収入を守るための支援を開始しています。



避難生活に関するアンケート調査

1 年でも特に災害の多い 6 月、「災害時の避難生活に関するアンケート」を実施しました。この調査は、佐賀県の災害支援 NPO、アジアパシフィックアライアンス・ジャパンと共同で実施し、6 月末までに 105 人の方に回答いただきました。アンケートでは、避難所での「睡眠」や「プライバシー」の問題をあげる人が半数以上のほり、トイレや衛生面、暑さ・寒さ対策についても 4 割以上が整えてほしいと回答しています。結果の詳細はホームページで公開予定です。

<https://www.civic-force.org/news>

なお、アンケート調査後に発生した 7 月豪雨では、調査結果を活かすべく、避難所でダンボールベッドの設置や寝具の提供なども行っています。

<新型コロナウイルス支援> ご寄付受付中！

■三井住友銀行 青山支店 普通
7027390

■ゆうちょ銀行
00140-6-361805 ※通信欄に、「新型コロナウイルス緊急支援」とご記入ください。

公益社団法人 Civic Force
シャ) シビックフォース

■クレジットカード・電子マネー
<https://bokinchan3.com/civicforce/donation/bokin/page1.php>

※様々なサポートをするためにご寄付のうち 15%は運営費として活用させていただきます。

福島、宮城、岩手 3 県で 7 プロジェクト

東日本大震災からもうすぐ 10 年。Civic Force では、時が経ったからこそ見えてきた被災地の課題と向き合う「新・夢を応援 × NPO パートナー協働事業」を実施しています。2020 年 7 月現在、これまでに 3 県で 7 プロジェクトを実施。4 月から協働事業を開始した石巻じちれんほか実施中 5 団体の取り組みをご紹介します。

NEW

石巻じちれん

仮設住宅アーカイブプロジェクト

東日本大震災以降、被災地最多の 134 団地・7000 軒の応急仮設住宅が整備された宮城県石巻市。2020 年 1 月までにすべての住民が退去していますが建物の素材や構造、立地、またコミュニティへの配慮などソフト面についてほとんど検証が行われていません。そこで、被災者コミュニティのリーダーたちが立ち上げた「石巻じちれん（前・石巻仮設住宅自治連合推進会）」が、かつて仮設住宅に住んでいた人や支援関係者へのアンケートを通じて、課題や改善案を可視化し、次の災害に生かす取り組みを行っています。



災害が頻発するなか、避難生活改善に向けて「生の声」を政策に反映する検証が求められています。写真＝石巻最大の仮設住宅密集地だった開成・南境地区（2019 年）

フルハウス

本屋の営業を再開



福島県南相馬市小高の地域住民や高校生の憩いの場をつくろうと、3 月にブックカフェをオープン。新型コロナウイルスの影響で営業自粛を余儀なくされましたが、本屋のみ 6 月に営業を再開しました。組織基盤を強化すべく、法人格取得に向けた準備も進めています。

Bridge for Fukushima (BFF)

オンラインで教育プログラム継続中

福島市で高校生に向けた実践的な人材育成プログラムを展開する BFF は、新型コロナウイルスに配慮し、4 月から研修プログラムの一部をオンライン化。各界で活躍する大人や大学生の話聞くオンライン講座「Ready to Go」は特に好評だったため、月に数回の頻度で続けています。



石巻復興支援ネットワーク

子ども食堂の代わりに弁当を

地域の親子に向けた「ママ子ども食堂」は、新型コロナウイルスに配慮して調理はせず弁当を手渡しています。また、除菌など感染対策の上、復興住宅でのコミュニティ支援の活動も続けています。7 月 25 日に開催したオンラインライブは盛り上がり、参加者から笑顔がこぼれました。



311 受入全国協議会

夏の保養プログラムに向けて

311 受入全国協議会に加盟する全国 27 団体は、子どもや保護者たちが気兼ねなく体を動かす場を提供しようと、夏の保養※プログラムを予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で、半数以上が延期を決定しました。

Civic Fore では、夏の保養プログラムを実施できなかった団体には、冬休みや春休みなどでも実施できるよう、参加団体の意向を確認しながら柔軟に対応しています。

※保養：東日本大震災以降、放射能のできるだけ低い地域で心身のリフレッシュにつなげようと、主に全国の有志グループらによって実施されてきた

緊急 即応体制 を創る

大規模災害時の緊急即応体制を整えるためのさまざまな取り組みを行っています。メディア掲載やご協力いただいている皆様の関連情報もお知らせします。

メディア

豪雨の被災地から

Civic Force が参画する「空飛ぶ捜索医療団 ARROWS」は、7月8日にオンライン記者会見を実施し、7月豪雨緊急支援1週間の活動について報告。その後、各種メディアで紹介されました。

- 7/9 NHK『ニュース7』『朝イチ』
- 7/9 ハフィントンポスト「コロナ禍に見た避難所の『明らかな違い』。医師たちが訴える、豪雨被災地のいま」
- 7/9 テレ朝 ANN ニュース「被災地救う派遣医療チーム 捜索や物資配布も」
- 7/12 熊本日日新聞「偶然着陸 17人救助 熊本豪雨、球磨村の孤立集落」
- 7/21 産経新聞「球磨村などで活動の医師『復興の遅れ心配』」ほか多数

緊急即 応体制

もっと気軽に社会貢献！

《活動全般》

- ヘッズ「チャリティハピネスレジ袋」
<https://www.e-heads.co.jp/products/detail2/3219>
- サンナップ（アスクル限定販売）
「フェーズフリー認証 紙コップ メジャーメント」
<https://www.askul.co.jp/p/P678379/>
- バリューブックス「チャリボン」
<https://www.charibon.jp/partner/cf/>
- 本棚お助け隊「古本チャリティ募金」
<https://hondana.biz/second-hand-books-selling-for-charity/charityhtml>
- ECナビ「スマイルプロジェクト」
https://ecnavi.jp/smile_project/

《令和2年7月豪雨》

- Yahoo! ネット募金
<https://donation.yahoo.co.jp/detail/3747019>
 - Readyfor 緊急支援プログラム
<https://readyfor.jp/projects/EMG0705>
 - ハピタスポイント募金
<https://hapitas.jp/exchange>
 - ECナビ「スマイルプロジェクト」
https://ecnavi.jp/smile_project/bokin/202007_kyushu/
 - GlobalGiving（英）
<https://www.globalgiving.org/projects/flood-and-landslide-relief-in-kyushu-japan-2020/>
- #### 《新型コロナウイルス緊急支援》
- GlobalGiving（英）
<https://www.globalgiving.org/projects/coronavirus-relief-aid-distribution/>
- #### 《東日本大震災》
- バリューブックス「ブックスフォーアジア」
<http://www.booksforjapan.jp/action/>

寄付付き商品の購入や読み終わった本・DVDの活用など、様々な支援方法があります。

↑ポイントで
寄付できます！

お知らせ

代表理事交代のお知らせ

このたび、弊団体の代表理事が大西健丞から根本佳織に交代いたしました（事務局長兼務）。設立以来、大西の在任中に格別のご高配を賜りました皆様に謹んでお礼申し上げます。緊急災害時に一刻も早く一人でも多くの支援を被災地へ届けるため、これまで以上に努力してまいります。新体制となりました Civic Force へのご支援・ご協力を引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

緊急即 応体制

1日33円から できることがあります

次の大規模災害に向け、平時から備えておくために、皆様の力が重要です。マンスリーサポーターとして、毎月定額（1000円単位）をご寄付いただく形で、大規模災害にともに備えてください。

- 銀行：三井住友銀行 青山支店 普通 6953964
- ゆうちょ：00140-6-361805
（上記いずれも口座名義は「シャ）シビックフォース」です）
- クレジットカード：HP「オンライン募金」をクリックしてください。
https://bokinchan3.com/civicforce/donation/bokin/page2.php?pm_type=monthly

※ニュースレターのバックナンバーは、
<https://www.civic-force.org/news/newsletter/> からご覧いただけます。





CIVIC FORCE